

在日本関東済州道民協会ニュース

[在日本関東済州道民協会：東京都文京区湯島 3-19-5 TEL 03 (3832) 4411 発行人：梁広実 編集人：李始禹]

2025年家族同伴新年会・成人式開催

1月25日(土) 上野・精養軒で『家族同伴新年会・成人式』が開催され、理事・会員とご家族、国内・韓国ご来賓を含め約300名余りの参加があり盛大に開催されました。

済州特別自治道から金 愛淑政務副知事、朴 仙熙道知事夫人、李 祥奉議長、金 光洙教育監ご夫妻、金 一煥済州大学総長をはじめ、61名の方にご列席いただき、国内からは、民団東京本部 李 壽源団長、安 容範議長、朴 昭男監察委員長をはじめ、各関連団体長並びに33名の方にご列席いただくことができました。式典では、梁 日勲会長の「昨年是在日済州人青少年母国招待事業に参加した学生10名は在日済州人の民族アイデンティティの確立及び故郷済州道の歴史や文化に触れる貴重な時間を過ごした。協会の継続を支えて来られた諸先輩の努力を受け継ぎ故郷と会員のために協会の組織力を高め、活性化に努めてまいります」との新年挨拶に始まり、金 愛淑政務副知事は「残念ながら今日、呉 怜勲道知事は、徳島県協約締結で出席できませんでした。済州は、在日済州人の皆様の郷土愛と献身を糧に、今日の豊かさと繁栄を築くことが出来ました。今は世界中の地方自治体と活発な外交を繰り広げ、自らブランド力を高めています。今年は世界平和の島に指定されて20周年を迎え、済州道地位と価値を世界中に拡散し、皆様にとって誇りとなる済州のために、もう一段の飛躍を果たします」と挨拶され、李 壽源民団東京本部団長、並びに各関連団体の来賓の方よりご祝辞を賜りました。また、在日済州婦人会と済州道各機関との間でプレゼントの交換が行われました。引き続き、陶芸家である朴 仙熙道知事夫人から「工芸品」と、金 順善教育監夫人から「ワインとお菓子」が贈られました。成人式では金 安花嬢・高 柚亜嬢・金 建昊君の3名が参加され、梁 日勲会長から祝辞と共に、当協会及び済州道各機関より多くの記念品が贈呈されました。新成人を代表して金 安花嬢が「日本で生まれ育っているが美しい自然と長い歴史を持つ故郷済州道の子孫である事に誇りを持ち、日本の社会で、韓国人として頑張りたい」と答辞を述べました。二部の懇親会は、李 相訓常任顧問の乾杯で始まり、余興にはエレクトリックヴァイオリニスト Song さんの演奏が披露され、会場が盛り上がりしました。歓談後に行われた恒例のビンゴ大会と抽選会では、皆様から数多くの豪華景品をご提供いただき、参加者みな大いに楽しんだ会となりました。2026年は1月24日(土)に上野 精養軒にて開催致します。





《左から金愛淑政務副知事・李祥奉義長・金 一煥総長》

《各機関長と婦人会のプレゼント交換》



《朴仙熙・金順善夫人と》

《新成人と金 光洙教育監》

《答辞に金安花嬢》



※ 済京第23期決算取締役会・定時株主総会

株式会社 済 京の【第 23 回定時株主総会】が、5 月 24 日文京区湯島の本社会議室にて、議決権の総数（発行済株式数 800 株、株主総数 30 名）のうち定足数たる株主の出席があり総会は適法に成立すると、の成立宣言の後、李 相訓代表取締役が議長となり高 尚弘道民協会顧問の進行のもと開会されました。

議案審議のなかで第 23 期(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで)決算の事業報告及び計算書類承認の件について以下のように概況説明を行いました。

当期の売上高は、前期比 108 万増の 6,041 万円となりました。経常利益は前期比 178 万円増の 2,305 万円です。当期純利益は前期比 90 万円増の 1,597 万円となりました。

続いて剰余金配当について、当期の配当は前期と同額 4%、1 株につき 4 千円の配当金支払いが満場一致で承認されました。

KSK ビル並びに本社事務室は 8,000 万円の出資金と 4 億 3,000 万円の銀行借入金にて資金投入され購入されました。銀行借入金累計返済額 3 億 3,730 万円で当期末残高 9,264 万円となり順調に運営されています。

又、第 3 号議案において、取締役全員の任期が本会終了後の時をもって満了となり、現取締役である、李 相訓、金 和男、金 光一、鄭 平普、高 尚弘氏 5 名の重任が満場一致で承認されました。

第4回理事会・第65回定期総会開催

「第4回理事会・第65回定期総会」が去る6月21日（土）上野精養軒に於いて、理事、会員、婦人会役員、青年部を含め、総勢53名の参加の上、開催されました。

宋 暎民副会長の開会辞の後、梁 日勲会長の挨拶に続き、高 瑋鉉顧問から「梁日勲会長に2期4年間コロナ禍でも創立60周年記念式典と60周年記念事業を成功的に行い、親睦旅行会を故郷済州で2回開催するなど、予定していたすべての事業を滞りなく遂行し、在日社会に済州道をアピールするため尽力していただき、本当にお疲れ様でした。引き続き、新執行部にも協力と支援を願います」と挨拶を頂きました。梁会長による総会の開会宣言後、2024年度事業報告及び決算報告が承認され、新年度の事業計画及び予算案を執行部の原案通り可決されました。また、青年部の事業報告及び会計報告、新年度活動案及び予算案も承認されました。その後、役員改選に移り、第35代会長に選出された梁 広実氏が定期総会にて承認され、「伝統ある会の歴史を絶やさぬよう、若い世代へ引き継げるよう、粉骨砕身の思いで努めてまいります」と抱負を述べられ、康 藏哲副会長の閉会辞で、無事終了いたしました。引き続き、金 和男顧問の乾杯音頭で懇親会が始まり、諸先輩方や在日済州婦人会 趙 年子会長からご挨拶をいただきました。また、席上、新執行部役員と青年部の紹介があり、なごやかな雰囲気では会員相互の親睦と絆を深める時間となりました。



《梁日勲会長挨拶》



《第34代執行部役員退任挨拶》



《高瑋鉉顧問・康藏哲副会長挨拶》



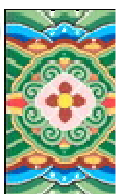
《婦人会より花束が新・旧会長に》



《梁広実新会長挨拶》



第35代会長に梁広実氏就任 会長就任によせて



この度、第35代会長を拝命いたしました梁 広実と申します。

私自身、道民協会に入会してから素晴らしい先輩たちから多くのことを教えていただきました。また、娘達も、済州道主催の「次世代在外道民韓国・済州語講座及び済州文化体験事業」、教育庁主催の「在日済州人青少年母国招待事業」などに参加させていただき、多くの経験や学び、関西済州道民協会の子達とも交流させていただきました。このような恵まれた環境で素晴らしい体験を享受できるのも、済州道のために数々の貢献をされた顧問、相談役の方々やその方達を支えた

婦人会の方たちのおかげだと思い心から感謝申し上げます。この伝統ある在日本関東済州道民協会の歴史を絶やさぬよう、若い世代へ引き継げるよう、粉骨砕身努めさせていただきます。幅広い世代での親睦、交流を図り、済州道の素晴らしさを多くの方たちに発信していきたいと思っております。

今期より、アボジ（父）だけでなくオモニ（母）が済州道出身でも道民協会に入会対象となりました。幅広く仲間を募り引き続き会を盛り上げて行きたいと思います。興味ある方は是非お問い合わせください。ともに学び活動できる仲間を歓迎いたします。

結びに若輩者ではありますが、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



第34代会長退任のご挨拶



会長退任にあたり

アンニョンハシムニカ！！

先日6月21日の定期総会にて2期4年の会長職を無事に終える事が出来ました。あっという間の4年間であります。

就任早々に60周年式典事業に携わる経験をさせて頂きました。その際に当協会の設立主旨を改めて振り返ることが出来ました。諸先輩方々の崇高な理念・郷土愛のもとに、インフラ・教育・文化施設の開発事業を目標に掲げ、国・済州道と一体となって開発に当たられました。

現在の済州道はインフラが整い年間通じての韓国国内・日本はじめとする外国からの観光客で大変な賑わいを見せています。このような発展を目にし実感する事が出来、本当に在日済州人で良かったと誇りに思います。

また、済州道での事業で年に何回か訪問する機会があり、行くたびに済州道の歴史・在日1世諸先輩方々の偉大さを改めて感じて参りました。会長として大変貴重な経験をさせて頂き感謝申し上げます。このような素晴らしい協会を今後も100年継続して行けるよう次期会長の元、執行部一丸となって頑張ってください。

最後に顧問・相談役・理事・会員の皆様、またいつもフォロー頂いた婦人会の皆様、青年部の皆、そして支えてくれた執行部役員の皆様、本当にありがとうございました。テダニカンサハムニダ



常任顧問 梁 日勲



新任役員ご挨拶申し上げます

副会長兼渉外部長 金聖宗

안녕하십니까!!

この度、副会長兼渉外部長を拝命しました金 聖宗と申します。

出身地は済州市旧左邑細花里で、1970年生まれの55歳です。30年前に来日し20年前に青年部に入り、夫 奉秋会長の時から渉外次長を経て、渉外部長を4期務めさせて頂きました。幼い頃から在日済州人は苦難と逆境を乗り越えて、また故郷済州道のために多大な貢献をされた事を沢山聞いておりました。



私は日本にしながら諸先輩のお話を聞き、言うまでもないほどの大変な苦労を感じました。これから2年間、梁広実会長の下で済州本土と在日済州人2世、3世との架け橋となり在日本関東済州道民協会の更なる発展のために微力ではありますが頑張っていく所存です。変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

在日済州人青少年母国招待事業



2024年8月7日より、3泊4日で中学・高校生を対象とした済州特別自治道教育庁主催「在日済州人青少年母国招待事業」が開催されました。済州特別自治道教育庁では在日済州人青少年に民族アイデンティティ確立及び故郷済州へ理解を深めるべく済州の歴史・文化に触れ合う機会を提供する為、今年初めて開催しました。学生と引率役員の費用はすべて教育庁負担というという破格の待遇で、関東済州道民協会からは学生10名、引率役員として李 相訓常任顧問、梁 日勲会長、梁 広実副会長、康 哲栄国際部長が、関西済州道民協会からは学生2名と引率役員3名の総勢19名参加でした。今回、引率者たちも子供たちと行動を共にし、色々なところを訪れました。

済州民俗自然史博物館で歴史を学び、西帰浦遊覧船で天地淵瀑布などの絶景を鑑賞、アクアプラネット鑑賞、現地高校の視察、済州大学内在日済州人センター見学など充実した4日間でした。特に在日済州人センター設立の際に多大なる尽力をされた多くの当協会顧問、相談役の写真が多く掲載されていました。また、現地の細花高等学校では美術の授業にも参加し、子供たちの真剣な眼差しが忘れられません。視察以外でも教育庁 金 光洙教育監自ら晩餐会にお越しいただきおもてなしをしていただきながら様々なお話もお聞かせいただきました。

実は今回、うちの娘3人を連れて行ったのですが、自分の故郷に対する多くのことを学び、感じたようで親としてはうれしいばかりです。

昨年の道庁主催「2023年次世代在外道民韓国・済州語講座及び済州道体験事業」に続き今回も大変お世話になりました。この経験を多くの人に伝えていきたいと思います。(副会長 梁 広実)



在日済州人青少年母国招待事業に参加して

去年に続き今年も姉2人を含む学生10人、引率の会長達数名で済州島に行っていました。昨年同様、関西からもお友たちが来ていました。今回は、一緒に来た大人たちと一緒に観光バスで移動しながらいろいろなところに連れて行ってもらいました。自然史博物館、在日済州人センター、天地淵瀑布、細花高校、アクアプラネット、樹木園夜市などです。西帰浦遊覧船に乗りながらきれいな空気と海も最高でした。訪問した高校で美術の授業を受けて、美術ってイメージすることや考えることが大事なのだと感じました。はじめて食べた豚カルビがとっても柔らかくて美味しかったです。今回、日本に売っていないStarbucksのグッズをゲットできたことも嬉しかったです。

高校、大学生になってもまた済州島に行きたいです。

おもてなしコマッサンミダ。

(参加学生 梁 瑛希)

済州道にて親睦旅行会開催



「済州道にて親睦旅行会」が2024年10月20から23日の3泊4日間、理事・会員・婦人会等13名の参加で開催されました。

旅行を企画するにあたり、春ごろから4年半ぶり成田から直行便運航再開の為、大韓航空さんからも相談や広報を依頼され、協会も応えたい気持ちがありました。

初日は夕方に到着しすぐにお楽しみの夕食タイムです。

太刀魚焼き・鯖の煮付けと済州道ならではの食事でスイッチオンとなりました。宿泊は協会旅行で初めてロッテシティホテルです。



2日目の午前中にアルテミュージアム済州に行きました。こちらは光や音などの要素を使用した没入型のアートです。言葉では言い表せないくらい幻想的で音楽も流れていて魅力的でした。また訪問したい美術館であり一押しです。午後には済州伝統酒でカクテル作り体験です。不器用な私もカクテルを作り味見をしたら少々酔っぱらってしまったのを覚えています。その後、ホテルに戻り、墓参りに行く方、ロッテ免税店で買い物を楽しむ方、部屋で休む方など。自由時間の後、夕食会場の刺身屋 済州パダ晚餐シーギャラリーに向かいました。夕食では、(社)世界済州人大会組織委員会(=現)世界済州人センター) 鄭 榮鎮事務総長他2名、在日済州人センター 孫 栄爽センター長他1名を招待し「食事会」を開催し、お互い理解を深めました。

3日目はボロムワツ観光・雉飴作り体験・昼食に地鶏しゃぶしゃぶを楽しみ、自然との共生されている「榎子林」を散策しながら気持ち良い汗を流した後、東門市場で済州ならではのお土産や買い物をし、足湯でリフレッシュのコースで疲れを取り、最後の晚餐は黒豚をいただき、あっという間の1日でした。

今回は久々の成田からの直行便であり時間を有意義に堪能することが出来ました。故郷での親睦旅行会を通じ参加された皆様達と普段以上に接することが出来て、在日済州道民の一員であると改めて自覚しました。2年に1回の済州道旅行ですので会員の皆様達の奮っての参加をお待ちしております。

— 会長 梁 日勲 —



株式会社 済 京

代表取締役 李 相 訓

東京都文京区湯島 3-19-5
TEL03-5688-0684 FAX03-3835-7756

ホテル サン・ロイヤルグループ

代表取締役 李 相 訓

本社 〒101-0025 東京都千代田区神田
佐久間町 3-29 2 階
TEL 03-3851-7017 FAX 03-3851-5894

ビルメンテナンス業
(設備管理、清掃全般)

(株) キャリーマインド

代表取締役 梁 日 勲

〒111-0036 東京都台東区松が谷 1-1-1-6F
TEL 03-6802-6790 FAX 03-6802-6791
E-mail: yanagawa@carry-mind.co.jp
http://www.carry-mind.co.jp



南房総館山で癒される日帰りバス旅行

5月25日(日)「第9回家族同伴日帰り旅行」が開催され、理事・会員、婦人会、青年部、そのご家族など30名が参加されました。今回は「南房総館山で癒される日帰りバス旅行」と題して、上野の旧ホテルパークサイド前に集合して、高速道路は眺めのいいアクアラインを通るルートということで、出発前から参加者一同テンションが上がります。

途中の休憩所としては観光スポットとしても大人気の海ほたるに立ち寄り、記念写真を撮ったりご当地スイーツを楽しんだり、あるいはゲームコーナーで遊んだり、サービスエリアでも各々楽しいひと時を過ごしました。午前中は生憎の小雨により訪問先の順番が若干変更になりましたが、午後には天気も回復し、みんなで館山城に登ることができてとてもいい思い出となりました。そして天気があまり芳しくなかったおかげで千葉方面への観光客が少なかったせいか交通量が少なく、渋滞することで有名なアクアラインを行きも帰りも全く渋滞することなく順調に通行することができ、快適な道中となりました。さらにこの日は大相撲の千秋楽ということで、帰りのバスでは恒例のビンゴゲームに加えて車内のテレビで相撲観戦もすることができ、参加者一同大いに盛り上がりました。

大の里は残念ながら千秋楽で豊昇龍に敗れ全勝優勝とはなりませんでした、ライバルがいてこそその成長につながると思います。この敗戦を糧にさらなる成長を期待します。ということで合言葉は。がんばれ大の里!!!

今回も、青年部から家族会員含め8名参加と多数参加して頂き大変うれしく思いました。



— 副会長 金正明 —

(株)双芽商事
ホテル ニューヨーク

代表取締役 梁瀬 広実

〒120-0005 東京都足立区綾瀬 6-8-28

TEL 03-3629-4151

株式会社 NAGATA
NAGATA

置き敷き塩ビ床タイルメーカー

代表取締役 永田藏哲

〒125-0062 東京都葛飾区青戸 5-19-20

Tel: 03-5832-9310 Fax: 03-5832-9311

<http://www.nagata-eco.co.jp>

炭火焼肉 海山

代表 宋 映民

(在日本関東済州道民協会 副会長)

〒110-0005 東京都台東区上野 2-3-10

TEL 03(3836)5566(代) FAX 03(3836)5565

— 各種ご宴会承ります —



婦人会だより

在日済州婦人会の皆様 안녕하세요

会長を務めております 趙 年子と申します。

日頃 在日済州婦人会を愛し、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。
暑さが厳しい折り、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年も早くも半分が過ぎ、月日の流れを強く感じています。

婦人会では 10 月末頃に韓国旅行を計画しております。日程調整中ではございますが会員皆様のご多数のご参加を役員一同願っております。

在日済州婦人会は初代 韓 道淑会長から 28 年の歴史が有り 6 名の会長に引き継がれ今に至っております。嬉しい事に最近は新会員も増え、より一層楽しい会になるよう役員一同願っております。今後共、婦人会にご協力を宜しくお願い致します。



株式会社 ヒューマンパワー

～外国人材に特化した人材派遣・紹介業～

代表取締役社長 朴 永 鎮

〒113-0022 東京都文京区千駄木 3-33-6
千駄木パークビル 6F

TEL 03-5842-1070 FAX 03-5842-1072

e-mail info@humanpower.co.jp

株式会社 プランタン

代表取締役社長 金正 明

炉端焼「樽平」

和食「極」

串焼「だるま」

浅草すし賢

つくばエクスプレス浅草駅徒歩 0 分

〒111-0032 東京都台東区浅草 2-11-4

TEL 03 (5246) 6547

ハラール(halal) 認証店

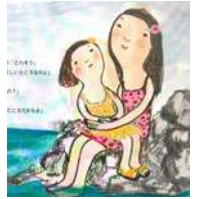
秋の都内散策



アンニョンハセヨ

昨年11月23日(土) 婦人会行事として「秋の都内散策」を開催し、20名が参加されました。内容は、はとバスで東京駅を出発し、ホテルでランチと千客万来・東京湾クルージングをするツアーです。久しぶりの行事でしたが、会員の皆様の協力もあり予想以上の人数でした。バスの中では座席も決まっていた、速やかに着席する事が出来ました。少し早めの有明ホテルランチでは、多くのメニューに参加者はビックリしていました。席に着き思い思いに楽しいランチタイムを過ごす事が出来ました。豊洲の千客万来では多くの人で賑わっており、なかなか参加者さん達と出会う事が有りませんでした。その後、バスで芝浦ふ頭に移動しクルージング船に乗りティータイムで和やかなに会話をしていました。クルージング後半は船のデッキで団体写真を撮り、自由に写真撮影をしたり船内で買い物をしたりと、思い出を作ることが出来ました。

第27回定期総会・送年会開催



12月7日(土) 婦人会の「第27回定期総会・送年会」を上野精養軒で行いました。参加者は33名で、道民協会から李 相訓常任顧問、梁 日勲会長、康 藏哲副会長の賛助もあり他2名が参加で、総会が行われ問題なく終了出来ました。その後、送年会に移りコース料理を食べながら談笑し、カラオケで盛り上がり、会員さんと楽しい時間を過ごすことが出来ました。

— 婦人会総務部長 朴 恵子 —



在日済州婦人会はこれからも道民協会と共に歩んで参ります

李相訓氏民団文京支部団長に就任



当協会 李 相訓常任顧問が 4 月 30 日に開催された民団文京支部「第 79 回定期総会」にて支団長に就任されました。

李 相訓常任顧問は第 18 代 故 李時香会長（翰京面頭毛里出身）の長男として生まれ、当協会では、青年部を経て、2006 年理事として入会して以来、2013 年から副会長兼総務部長を 2 期、2017 年第 31 代・第 32 代会長を歴任され、2025 年 6 月から顧問として在任中です。

会長在任中は年に数回「理事・会員の集い」を開催し、婦人会・青年部役員も参加して頂き会員同士交流と拡充を図りました。2018 年、「海外に訪ねる耽羅文化祭東京開催」の際には成功開催の為、マスコミや各機関に積極的に広報し、800 名以上の在日済州人はもちろん在日同胞と日本人を動員させ、日本に済州文化を知らしめました。同年、親睦旅行会を故郷済州で開催し、故郷の発展と在日済州人の郷土愛を知らせました。2019 年当協会が「在京道民会役員合同懇親会」の幹事を務めた時には、総勢 53 名の参加のうち当協会から 25 名が参加し、当協会の強い団結力を在京道民会にアピール出来ました。2020 年の新型コロナウイルスで協会の事業進行はもちろん、会員たちの事業運営が厳しくなった時には、全会員たちに慰問品を送りました。また、創立 60 周年記念事業の準備の際には、率先して物的援助のみならず、心の支えとなるよう努められました。2019 年から株式会社 済京の代表取締役も務めておられます。

在日同胞社会においては、2006 年東京韓国青年商工会 第 29 代会長、2006 年から東京韓国商工会議所 常任理事として、2016 年から民団文京支部副議長、議長を経て、この度、支団長に就任されました。

2022 年道民協会 60 周年記念式典にて済州特別自治道知事より功績賞を授与されました。更に 2013 年からお父様の遺志を継ぎ、毎年済州大学生に奨学金 3 千万ウォンを捻出し、学生たちの学びを支えています。 就任おめでとうございます。

済州観光開発の先駆者



故 金坪珍顧問、第1回今月の在外同胞に選定

在外同胞庁は大韓民国の発展または居住国内の韓国人の地位向上に寄与した同胞を発掘し、毎月「今月の在外同胞」に選定、発表することにしました。去る、3 月 17 日、第 1 回「今月の在外同胞」として母国と済州の発展に先駆的な役割を果たした在日同胞企業人の金 坪珍（1926～2007）前 在日本済州開発協会 会長（＝在日本関東済州道民協会 顧問）が選ばれました。

故 金 坪珍会長は 1926 年済州市回泉洞で生まれ、15 才にて渡日され実業家としての道を邁進し、飲食業、ホテル観光事業、遊技業等々、多方面にわたる事業を起業され、金海商事株式会社をはじめとする「金海グループ企業」の創始者としてご成功されました。1962 年に当協会の前身である在日本済州開発協会 会長に就任された後、在日韓国人の経済・文化人を主軸にした済州郷土訪問団を派遣しその際、日本のミカンの苗木



500 株を持って行き、西帰浦農業高校と済州大学農学部農場に植樹されました。この時から在日同胞のミカンの苗木送り運動が始まり、ミカンが済州道の主要産業に成長することになりました。更に、済州道のミカン産業発展のために新品種のミカン苗木を普及し、済州道の農水産部門開発のための技術研修生を日本に招待して先進農業技術を身につけさせました。

1964年、済州道初の現代風の観光ホテル・済州観光ホテル（（現）ハニークラウンホテル）を建立し、本格的な観光インフラの造成に乗り出しました。その後、西帰浦観光ホテルとハネムーンハウスを相次いで建設し、済州が国際的な観光地に成長するのに重要な役割を果たされ、済州観光産業の発展の土台を築いたと評価されています。

1966年、経営難で廃校の危機に瀕していた済州女子学院を引き受け、済州地域の女性人材を養成する重要な教育機関として定着させました。また、1981年に在日韓国教育財団の顧問として活動し、在日同胞2世が母国を訪問できるよう支援し、歴史と国家観教育を受けられる機会を提供し、教育分野でも重要な貢献をされました。

1977年、済州新聞社（（現）済州日報）の会長に就任し、済州道のマスコミ環境改善にも先頭に立ちました。1982年、在日韓国人商工連合会の会長を務め、韓日間の経済協力関係を強化し大きく貢献されました。

このような功績が称賛され、韓国政府より1981年に国民勲章 牡丹章、1987年には最高位の国民勲章 無窮花章などを授勲されました。1998年済州大学から名誉経営学博士号が贈られました。



6月ご長男の金和男顧問に「今月の在外同胞」証書と記念牌が授与されました

金 坪珍顧問、その名は、世代を超えて語り継がれることでしょう。

在外同胞庁は「光復以前の独立運動の時期から今日の大韓民国まで経済、文化、社会、科学など各分野で母国と同胞社会の発展のために献身した在外同胞の活動を新聞、放送、SNS等を通じて広報し、韓国国民に在外同胞が『大韓民国の資産』であることを認識させる計画」です。「このような人物を選定するために全世界の同胞団体の推薦と言論、教育、経済など各分野の民間専門家11名の委員で構成された『在外同胞政策諮問委員会』の審議を経て『今月の在外同胞』を最終選定する」と明らかにしました。

2024グローバル済州商工人フォーラム



2024年10月3日より2日間に亘り、ラマダプラザ済州ホテルにて済州商工会議所・在外済州経済人総連合会・済州メセナ協会の共同主催で「2024 グローバル済州商工人フォーラム」が「変化と機会のための済州経済の新たな原動力」をテーマに開催され、国内外済州商工人と機関長、魏聖坤国会議員、武田克利 在済州日本国総領事など200余名が参加した中、当協会から李 相訓常任顧問、梁 日勲会長、梁 広実・宋 暎民両副会長が参加いたしました。

前乗りした初日は夕方に到着し皆で食事をし、ゆっくりと明日からのフォーラムに備えることにしました。

3日午後、参加登録後、「開会式」が開かれ、済州商工会議所 梁 文碩会長の開会辞に、文 奉満 在外済州経済人総連合会長、金 光洙 済州道教育監と当協会 梁 日勲会長から祝辞の後、呉 怜勳 道知事は基調講演を行い新産業育成とデジタル大転換を通じた済州経済の革新と成長戦略を提示

しました。済州が抱える課題、青年人口の流出や気候危機、観光産業の危機などに対し、2035 年炭素中立の実現、観光産業の革新などの戦略も示され、拝聴してとてもドキドキし感動した限りでありました。引き続き、各地域・各分野で活躍されている方たちによる主題発表と、「済州経済懸案と未来戦略について」討論会が開かれましたが、パネリストの一人がなんと当協会の高 海正会員（株）PADA 代表取締役）でありました。高海正会員は「在日世界での商工人の成功例や逆に難しさ等と済州が地方消滅を防ぎ、成長の道に進むためには、教育、福祉などの分野を果敢に改革し、済州道民の幸福指数を高め、他地域住民が訪れて住みたい地域にすることが重要である」と提言されました。



4 日は「済州経済リーダーズ円卓会議」や特別講演、青年商工人フォーラム、済州経済人交流のタベが開かれ、国内外の済州商工人の和合を図り、ネットワーク強化の交流プログラムが実施されました。

今年で 8 回目を迎えたグローバル済州商工人フォーラムは、済州経済のグローバル競争力強化と持続可能な発展方案の模索のために 2016 年に初めて開かれました。私も商工人として大いに勉強になり・もっともっと頑張らねばならないと決意致しました。今後も毎年グローバル済州商工人フォーラムは開催されますので理事・会員の皆様もたくさん参加して感動を共有できればうれしく思います。

— 会長 梁 日勲 —



第20回在外道民役員郷土学校

済州特別自治道主催「2024 年役員郷土学校」が 10 月 4 日から二日間開催されました。

「入校式」が午後 2 時済州労働者綜合福祉館中会議室にて行われ、在外済州道民会総联合会 許 能必会長はじめ国内外 12 カ所道民会役員 47 名が参加した中、当協会から宋 暎民副会長が参加いたしました。参加者たちに済州型基礎自治団体設置および済州歴史・文化特別講義などを通じて済州の発展方向に対する理解を高め済州人としての自負心を鼓吹するための内容で構成されました。



「役員郷土学校」は他地域で活動する在外済州道民会役員に故郷訪問の機会を提供する為のプログラムで、2002 年に始まり今年で 20 回目を迎えました。

在外済州道民会総联合会2024年定期総会・

2025セミ-世界済州人大会準備セミナー

10月5日、午前10時より済州道庁 第2庁舎にて在外済州特別自治道民会総聯合会の「2024年定期総会」が開催され、総36名が出席した中、当協会から宋 暎民副会長が出席しました。はじめに、許 能必会長の挨拶があり、経過報告並びに監査報告の後、会議が開かれ、2024年の会計決算及び2025年度予算案が上程され、審議の結果いずれも承認されました。

席上、許会長の発議で日ごろ聯合会行事にあまり参加できない関東と関西の年会費が見直され、これまで年間300万から100万ウォンに調整されました。続き、許会長の任期満了に伴い、第14代会長に姜 成彦（現 ソウル道民会 会長（同会24年04月就任））が選出されました。姜新会長は「65万の在外済州道民の和合のために先頭に立ち、特に海外済州道民会と緊密な疎通と参加で故郷済州に対する愛郷心を2・3世にも高めるよう努める。更に、総聯合会の地位強化のために努力し、第3回世界済州人大会の成功の基礎を築き、済州道庁との協力を強化する」と抱負を述べられました。在外済州特別自治道民会総聯合会会長は世界済州人大会組織委員会（現 世界済州人センター）の共同委員長に就任することになり、2025 セミ-世界済州人大会を率いることになります。許 能必 第13代会長は最後の仕事として2016年以後の活動を纏め、2019年、2023年世界済州人大会記録を本として残し、歴史的資料はもちろん後輩たちに団結を図り、故郷済州へ愛郷心を鼓吹するために10月30日付け「グローバル済州人」を発行されました。

引き続き、午後1時よりメソングラットホテル済州にて（社）世界済州人大会組織委員会主催「2025 セミ-世界済州人大会準備セミナー」が開かれ、呉 怜勳道知事、李 祥奉道議会議長はじめ国内、東京、大阪、ニューヨーク、シカゴ、アトランタ、シドニーの現地道民等、総勢108名が参加した中、当協会から宋 暎民副会長が参加しました。

「2025 セミ-世界済州人大会成功的開催のための方案摸索」をテーマに、各界専門家が共に大会の方向性と国内外済州人ネットワーク拡大など具体的方案提示のためのパネル討論が進行され、発表は済州大学の孫 栄奭教授兼在日済州人センター長が担当しました。

セミナーでは「故郷を愛する寄付金」の寄託式が行われ「済州故郷を愛するキャンペーン」を通じ、在外済州道民の故郷への愛を実践しました。式には、世界済州人大会組織委員会 許 能必共同委員長をはじめ、釜山道民会 金 大鉉会長、仁川道民会 コ・ドンボム会長、慶南道民会 金 大権会長が参加されました。また、参加者たちは故郷愛寄付キャンペーンを展開し、済州故郷愛寄付制への参加を促し応援のメッセージを伝えました。呉知事は「皆さんの応援と努力のおかげで済州が全国故郷愛寄付制優秀事例競進大会で大賞受賞ができました。これからも済州に対する持続的な関心と応援をお願いします」と話されました。



在京道民会役員合同懇親会に参加

11月8日新宿区 ネネチキン新大久保駅前店にて毎年恒例の「2024 年在京道民会役員合同懇親会」が在日忠清協会の主催で開催されました。今回も各道民会から総勢 25 名が参加され、当協会からは、李 相訓常任顧問、梁 広実・洪 正敏両副会長が参加致しました。他道民会役員たちといろいろな意見交換をしながら、親睦も深められ、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。



2025 年は在日全南道民会が幹事と決まりました。

懇親忘年会開かれる

さる、12月2日に「懇親忘年会」を上野・精養軒 梅の間にて開催いたしました。高 瑋鉉顧問をはじめ9名と相談役では金 秀吉相談役をはじめ3名、梁 日勲会長をはじめ執行部役員11名、青年部2名、総勢25名が参加致しました。先ず、梁 日勲会長から協会運営報告と、今後の事業案内があり、高 瑋鉉顧問の乾杯音頭で懇親会が始まりました。諸先輩方から「具合が悪くなくても参加したくなる会で、いつまでも新年会をはじめ道民協会行事に人がいっぱい集まるよう私たち先輩も頑張る」、「18歳に来日し、道民協会の理事になったのは45歳だった。以来30年の歳月が流れたが今振り返っても道民協会に入って非常に良かったと思う。10月済州道での親睦旅行会に参加したが道民協会の旅行の中で今回が一番楽しかった。また、済州道を見直した。健康で長生きし、済州道発展と道民協会の100周年を目指して、若い世代と頑張りたい」、「昨秋は闘病で、心身ともに沈んでいましたが協会の仲間に関わり元気もらい、結果的に良い方向に向かうので顧問・相談役達も元気出して会の行事に参加しましょう」など貴重なご意見と一年間の労をねぎらいながらの談笑で、有意義な時間となりました。これからも協会の伝統を受け継ぎながら活動していきたいと思ひます。



梁日勲会長



金和男顧問



慎龍九相談役



金秀吉相談役



洪龍次郎相談役



夫昇培顧問



高瑋鉉顧問の乾杯音頭

第59回済州道民体育大会に参加

4月18日より3日間の日程で「第59回済州特別自治道民体育大会」が済州市済州総合競技場 愛郷運動場にて開催され、在外道民62名が参加した中、当協会より梁 日勲会長が参加しました。午後2時半から在外道民会親善競技が行われましたが、飛行機遅延により梁会長は、夕食から合流された後、午後6時から開会式を参観しました。翌日は朝食後に、済州市奉盖洞中山間にて「ワラビ採り大会」に参加し、昼食後解散となりました。





在日仙台済州道民会 50年の歴史に幕を閉じる

道民会最後に故郷に寄付

日本には、関東・関西・仙台の三つの済州道民会あります。その中、在日仙台済州道民会が今年6月をもって50年の幕を閉じました。

同道民会は、1975年1月1日創立以来50年間、宮城県仙台在住の在日済州人の結束と済州道発展のために努めてきました。1978年490万円（植樹6000本）、1982年済州大学に100万円、1988年ソウルオリンピック公園「新山公園」の記念事業に1500万ウォン寄付するなど郷土愛を実践してきました。現在は、会員高齢化と、在日済州人2・3世の少子化、東北という地域性により会員の減少を余儀なくされ、2024年、第49回総会にて「会の解散」が決められました。同道民会は5月28日創立50周年を記念し、最後の故郷訪問で会員11名と関係者含む総37名が道庁を訪問し、解散に先立ち保有資産を売却して用意した寄付金100万円を伝達しました。宋高士会長は「役員の高齢化と次世代会員の活動への関心が薄いなどで解散することは大変残念だが、最後まで故郷済州のために有意義な事ができて嬉しい。半世紀に渡り道民会を守ってきた先輩たちの大部分が亡くなったが、済州の発展を祈る気持ちで感謝の意を伝えたい」と話されました。呉怜勳道知事は「半世紀にわたり、故郷への思いを守り続けてくださった在日仙台済州道民会の献身に深く感謝します。道民会の大切な足跡が済州と日本間の友好の象徴として長く残るよう努力します」と述べました。寄付金は道内の生活困窮な隣人のために使われます。

同じ日、在日仙台済州道民会は済州大学を訪問され、奨学基金として100万円を寄託しました。宋会長は「最後に故郷の発展を祈り、済州大学校の学生たちの学業を応援するために今回の基金を伝達することが出来て嬉しい」と話されました。金一煥総長は「長きにわたり、道民会の真心のこもったご関心とご支援を賜り、済州大学校は着実な発展を遂げることができました。このご恩を決して忘れることなく、道民会の愛を学生たちや後世にしっかりと伝えてまいります。」と答えました。6月29日から1泊2日間、仙台市秋保ホテルクレセントにて在日仙台済州道民会の「第50回解散総会」が開かれ、総29名が参加した中、当協会からは梁日勲常任顧問、梁広実会長が参席し、関西済州道民協会からも李民男常任副会長と金呂應内務副会長が参席されました。席上、当協会から長年会長職を勤め上げた宋高士会長にプレゼントを贈りました。在日仙台済州道民会はなくなりますが「親睦会」という形で親睦を図ります。また、仙台道民会から関東・関西道民協会と在外済州道民会総聯合会に30万円ずつ寄付金が手渡されました。尚、当道民協会では2011年6月東日本大震災の際、義援金として100万円を寄付しました。



済友会では



2024年9月10日「第171回済友会ゴルフコンペ」が霞ヶ浦国際ゴルフコースにて開催され5組19名が参加されました。

優勝：金 聖宗

準優勝：李 大浩

三位：全 金福



「第172回済友会ゴルフコンペ」が12月11日千代田カントリークラブにて開催され、6組23名が参加されました。霞ヶ浦国際ゴルフコースは猛暑が原因でグリーン上の7割が焼けてしまいしばらくは千代田カントリークラブで開催します。

優勝：赤羽光遠

準優勝：林 致寛

三位：洪 正敏



「第173回済友会ゴルフコンペ」が3月18日千代田カントリークラブにて開催され、6組20名が参加されました。

優勝：金 聖宗

準優勝：李 大浩

三位：夫 奉秋



梁 日勲会長誕生し二期目の第34代最後となる「第174回済友会ゴルフコンペ」が6月11日

千代田カントリークラブにて何時もやっているハンディ制と2年毎に開催する次のハンディキャップを調整する取切り戦も開催され、6組23名が参加されました。当日はあいにくの終日雨模様となりましたが、キャンセル無しで諸先輩方にもご参加いただき、皆様と親睦を深める事ができました。プレイ後、成績発表のパーティーでは梁 日勲会長、顧問さんから協賛も沢山顶き参加者皆様は一層喜びました。

— 副会長 金 聖宗 —

〆 優勝： 宋 洙一

準優勝： 李 大浩

三位： 洪 正敏



【取切り戦】〆 優勝： 李 大浩

準優勝： 金 聖宗

三位： 高 明寛



来る9月25日「第175回済友会ゴルフコンペ」からは新しいハンディで行います。皆様の参加を心よりお待ちしております。

～青年部だより～

안녕하십니까?

今期から青年部長に就任しました文 仁寿(ムン インス)と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

私たち青年部は 18 歳～45 歳のメンバーで定例会を開催しています。

昨年は 8 月に都内池袋にて家族同伴 BBQ イベントからスタートを致しました。

青年部だけではなく親会の多くの役員も参加して頂き、毎年暑さが増す夏でしたが、お酒もお肉も進み大盛りあがりのスタートとなりました。

また、間髪をいれずにコロナが明けて 5 年ぶりの青年旅行として大阪に行ってまいりました。初日は鶴橋をスタートして大阪コリアンタウン歴史資料館&フィールドワークで在日済州人をはじめとする在日コリアンについて学ぶことが出来ました。夜には初めて関西済州道民協会 青年部会の皆さんと懇親会を行いました。今回の交流会はコロナ禍に Instagram を通じて連絡を取り合いながら、ようやく開催が叶った企画でもありました。お互いの道民協会について情報交換も行い、新しい発見もあり有意義な時間となったと思います。いつかは本国済州道の青年会・関東・関西道民会の 3 団体での交流会を叶えられれば、と思っております。

また、毎年春には日本の養護施設の子供達との焼き肉食事を開催しており、もはや私達のメインイベントになりつつもあります。毎回多くの子供たちと大人があつまり、1 年振りに顔を合わせる子供たちの成長を楽しませてもらっています。普段は忙しくてなかなか参加できない会員も、この事業だけは継続して必ず出席したいと言ってくれており、今後もしっかり引き継いでいきたいと思っています。



会員たちの職種は経営者、医療従事者、各種専門職など多岐にわたり、ビジネスや新しいネットワークを広げていく上でも、同郷で結ばれた絆はさらに大きな力になってくれることでしょう。また、協会からの支援のおかげで、定例会の個人の負担も 3,000 円ほどで行えております。

ぜひお子様やご親戚にこの青年部の存在をお伝えいただき、お気軽にご連絡ください。

新しい仲間に出会えることを楽しみにしています。



<お問い合わせ> 道民協会事務局 TEL 03-3832-4411

済州特別自治と済州観光公社、東京で6年ぶり観光のタベ開催

済州特別自治道と済州観光公社は日本からの観光客誘致強化を目的に、6月16日（月）新宿区ヒルトン東京にて約6年ぶりに済州観光説明会「2025 チェジュ観光のタベ」を開催しました。

航空会社及び船会社、日本の大手旅行会社や日本旅行業協会(JATA)など関連業界と関連機関を招待し、アフターコロナのチェジュ島観光の最新情報を紹介する済州観光説明会や、済州観光協会をはじめとする済州道内企業11社も参加し、官民共同現地セールスを推進し、東京地域の主要旅行業社と済州道内業社間ビジネス商談会を開催しました。

済州特別自治道 観光交流局 観光政策課 朴 貞年課長は開会の挨拶で「昨年7月の成田-済州直行便が復航以来、両地域の心の距離が近づいていると実感しており、大変うれしい。これからもこのいい流れを続けるべく、より多くの日本の皆様にチェジュの魅力をお伝えできるよう、済州と日本の旅行業界の皆様で協力していきたい」と話されました。済州観光公社 高 昇鐵社長は「済州は単なる休養地を越えて、‘持続可能性’と‘地域性’を大事にした旅行先へと進化し、アクティビティ、ウェルネス、グルメ、村ツアー、雰囲気の良いカフェや宿泊施設など、日本の皆様にアピールできる新しいコンテンツがたくさんあります」とアピールし、「直行便再開によって、24年9月の時点で日本人客は23年1年間の総数を超えました。皆様の協力による需要拡大で、成田からのデイリー運航も可能になります」と期待を寄せ、「この場で日本と済州の連携を強化してほしい」と呼びかけました。今後も、済州特別自治道と済州観光公社はさらなる済州観光の発展に向け済州観光の魅力を発信し、需要の創出に取り組むそうです。

【東京(成田)-済州便 直行便スケジュール】10/25(土)まで

成田 16:35 ⇒ 済州 19:30 KE2126便 水・金・日

済州 12:55 ⇒ 成田 15:25 KE2125便 水・金

※ 日曜のみ 済州 11:55 ⇒ 成田 14:25



※上記スケジュール及び機材は予告なく変更になる場合がございます。



(済州道庁観光交流局 朴貞年課長)



(済州観光公社 高昇鐵社長)



《観光説明会の様子》

왕방감서!!



道民協会便り

→ 詳しくは当協会事務局までお問合せください。

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-19-5

TEL 03-3832-4411・5077 FAX 03-3832-5078

<http://www.jejudomin.org>

新規理事・会員のご紹介

当道民協会の運営行事にご賛同頂きました新規理事・会員です。

今後とも、会員相互の親睦、相互協調を深めて参りたいと思いますので、是非理事・会員のご紹介並びご入会をお待ち申し上げます。

- 新規理事：(台東区) 高 明寛
- 新規会員：(板橋区) 洪 成国



冠 婚 葬 祭

※ 相談役 姜 丞宝（岡本勝一）氏が病気療養中のところ 10 月 30 日にご逝去され、11 月 3 日 町屋斎場にて家族葬で営まれました。（享年 77 歳）

※ 朴 泰錫会員のご三女 麻梨嬢と当協会青年部 高 将太君の結婚式が 1 月 11 日東天紅にて行われました。

※ 副会長 洪 正敏氏のご尊父 徳山（洪）栄禧氏が、7 月 15 日に永眠され、20 日足立鹿浜會館にて家族葬で営まれました。（享年 84 歳）



2025セミ-世界済州人大会

느영나영 제주를 잇다:세대와 시간의 만남 あなたと私が済州をつなぐ:世代と時間の出会い

- ◆ 日 程：10 月 1 日（水）～ 2 日（木）二日間
- ◆ 場 所：メソングラット済州ホテル及び済州道一帯
- ◆ プログラム：
 - ・ポクサク ソガッスダ（本当にお疲れ様でした）ハンマダン
 - ・世界済州人大会成功開催リーダース アゴラ
 - ・新しい済州・輝く済州人
 - ・済州探訪プログラム
 - ・常設：済州人展示会、グローバル済州製品展示・販売など
 - 済州語クイズブース、故郷はどこ？、健康相談ブース等

済州特別自治道では在外済州人 1 世代から次世代までを網羅し 135 万の済州人を一つに繋げるネットワークになると期待し、4 年周期で世界済州人大会を開催します。また、その間に本大会準備として規模を縮小したセミ大会を開催しています。皆様のご関心と積極的なご参加をお願い申し上げます。 詳細が決まり次第ご案内致します。

※お引越しの際には新しい連絡先を事務局宛にご一報願います。